

4 学 年 の 実 践

1. 単元名 「大くら大すき！ 4年生 ～大くらのすてきな人 はっけんたい～」

2. 指導観

- 本単元では、大蔵のまちのことを思い、大蔵のまちのために活動している素敵な人を取り上げる。素敵な人は、大蔵のまちの多様な魅力やよさであるひと・こと・ものと常にかかわっており、その人と一緒に活動したり、大蔵のまちへの思いや願いを知ったりすることで、大蔵のまちの多様な魅力やよさが見えてくるのが期待できる。また、大蔵のまちで活動しているため、課題解決の過程において児童が繰り返しかわることができ、体験的な学びが可能である。また、素敵な人がしている活動や大蔵のまちへの思いや願いを受け止め、自分ができていることを考えていくことで、大蔵のまちのひと・もの・ことに対する見方や考え方が変容していくことも期待できる。このように、大蔵のまちの素敵な人を調べることで、素敵な人と自分の生活とのかかわりに気付いたり、地域の一員としての自覚をもち大蔵のまちのためにできる活動を考えたり地域の人とよりよくかかわっていこうとする思いをもったりするなど、地域に愛着をもてるようになることがねらいである。
- 指導にあたっては、一人一人の児童の確かな問題解決力を育成するため、学習過程の各段階において、次のような具体的な手立てを講じるようにする。
- ①第一次 「つかむ」段階での大蔵の魅力に新たな視点で迫ることのできる地域素材（学習材）の焦点化及び児童の思いや思考の流れに沿った単元づくり【手立て1】

本単元の導入場面で、3年生の総合的な学習の時間での活動や体験を写真や資料などで振り返る際に、自分や友達がかかわった人の中で心に残った人や活動内容、もっと調べたいことの観点で整理する。また、友達とベスト5を決める中で素敵な人とは「大蔵のまちのことを思って頑張っている人」等のイメージを持てるようにする。このことで、3年生での学びが4年生の学習へとつながっていくようにしたり、課題設定への方向付けをしたりする。その後、児童が取り上げた大蔵のまちの素敵な人の一人である保育士の方々の素敵など調べをしたり、ベスト5や教師が準備した資料（区会だより・社協だより「こだま」）等をもとに自分で調べてみたい人を考えたりする。その中で、次第に課題意識をもつことができるようにする。その後、調べたい人、調べたいと思ったわけ、一緒にしたい活動、調べたことをだれに伝えたいか等の学習計画を立てる。このことで、明確な課題意識や活動の見通しをもてるようにする。
- ②第二次 「さぐる・伝え合う」段階での課題設定の時間や体験の十分な保障と体験活動に効果的な人材活用及び「整理・分析」のプロセスでの協同的活動の重視【手立て2】

大蔵のまちの素敵な人と一緒に活動したりインタビューしたりする際には、毎回自分の課題を再確認し、課題解決のための活動や体験であることを自覚してから取り組むようにする。このことで、明確な課題意識をもって活動や体験ができるようにする。また、活動や体験をするたびに、振り返りカードにまとめ、グループで交流する活動を設定する。このことで、素敵な人に対する自分の捉えや考えを整理したり、素敵な人に対する見方や考え方が次第に変容したりしていることを自覚できるようにする。さらに、活動や体験後は、グループで、自分達の活動を振り返って、成果と課題を表に整理し、改善策や次の課題を話し合う活動を設定する。また、考えた改善策を素敵な人に相談してアドバイスをもらったり、全校への意識調査のアンケート結果から課題を見付け解決策を話し合ったりする等の活動を設定する。また、全校児童や地域の方に賞賛の言葉をいただくことを想定したアンケートをとったり、自分達の取り組みに対する評価の感想を聞いたりして、成就感や満足感を感じることができるようになる。これらのことで、活動や体験の目的や意味、自分の成長や変容を自覚しながら課題解決に向けての意識が連続するようにする。また、高齢者疑似体験のボランティアの方から、「相手の立場に立って、どんな小さなことでもいいから、人のために役に立つことをしてくれとうれしい。」「大人になったら大蔵のまちのために一緒に活動しましょう。」等の話をさせていただく。このことで、地域の方の大蔵のまちに対する思いや愛着にふれることができるようにする。また、お独りでお住まいの年長者の方に、「人とのつながりが大切」「挨拶も人とのつながりを生む」等のお話をして

いただき、自分が調べている素敵な人の思いや願いとの共通点を見付ける活動を設定する。このことで、素敵な人は、大蔵のまちの人とのつながりを大切にしたいという思いももっているのではないかとすることに気付くことができるようにする。

- ③第三次 「伝え合う・生かす」の段階でのお互いの考えを出し合い、高めていく学習場面の設定と「まとめ・表現」のプロセスでの協同的活動の重視【手立て2】及び児童の思考の広がりやこだわり、深まりの見取りと児童の学習状況に応じた適切な助言・支援【手立て3】

グループで発表する計画を立てる際には、まず自分で、これまでに書いたカードや写真等で素敵な人について思ったことや気付いたこと等をかかわる前から順に時系列で整理しながら振り返る活動を設定する。次に、グループで交流し、自分との共通点を見付ける活動を設定する。最後に、グループで一番伝えたい素敵や思いを話し合う。このことで、素敵な人に対する見方や考え方の変容に改めて気付いたり、素敵な人についての自分の考えを整理し直したり、大蔵のまちに対する自分の思いや願いに気付いたりすることができるようにする。また、市民センターでの発表後は、地域の方や保護者の方に、児童の活動内容に対する肯定的な感想を出していただき、それを聞いて思ったことを友達への発表内容に加える。このことで、自分達がしたことが地域の役に立っていることや、地域の方に喜んでもらえていることを実感できるようにする。また、本時で、GTから共生や地域貢献についてのお話を聞いたり、これまでにかかわった全ての素敵な人から学んだことを振り返ったりする活動を通して、共生の思いや願いに気づき、大蔵のまちの一員として大蔵のまちの素敵な人とさらにかかわっていききたいという意欲をもつことができるようにする。

- ④第四次 「つかむ」「さぐる」段階での児童の思考の広がりやこだわり、深まりの見取りと児童の学習状況に応じた適切な助言・支援【手立て3】

「つかむ」段階において次に調べたい素敵な人を決める際には、これまでに学習してきた素敵な人の捉えをもとに、調べたい人を見付けるよう助言する。このことで、児童の素敵な人調べの意識が上がり、深まっていくようにする。「さぐる」段階において素敵な人調べをする際は、活動や体験をする度に、振り返りカードにこれまでに学習した素敵な人との共通点を見付けながら自分の考えをまとめる活動を設定する。このことで、大蔵の一員としての自分の考えの変容や深まりに気付くことができるようにする。

- ⑤第5次 「伝え合う」「生かす」の段階での連続的、長期的な見取りを生かした支援とポートフォリオを使った評価の工夫【手立て3】

「伝え合う」「生かす」の段階においては、これまでに学習した素敵な人々全ての中から、地域の方に紹介したい人を決め、区会だより・社協だより「こだま」に紹介文を書き、発信する。また、お互いの紹介文を発表し合い、感想を出し合ったり、自己評価カードを書いたりする。このことで、単元全体の学習を振り返り、獲得した学びや自己の変容に気付くことができるようにする。最後に、大蔵川に詳しいGTに、5年生の総合的な学習の時間の大蔵川調べの観点となる大蔵川の昔の様子、今よりもっときれいだった頃の大蔵川によく見られた生き物、プールや釣り場やホテルの鑑賞等の遊び場や憩いの場としての大蔵川等のお話をしていただき、調べてみたいことを出し合う。このことで、5年生の総合的な学習の時間へとつなぐことができるようにする。

3. 単元の目標

問題解決への関心・意欲・態度	○ 自分の生活と大蔵のまちの素敵な人とのかかわりに関心を持ち、進んで素敵などころを調べたり、かかわりから学んだこと等を表現したりしようとする。
学び方や問題解決の力	○ 大蔵のまちの素敵な人調べの自分の課題にそって、インタビューをしたり、何度もかかわったりして情報を収集・選択することができる。 ○ 大蔵のまちの素敵な人から情報収集したものを友達と協力して整理・分析し、課題を追究することができる。 ○ 大蔵のまちの素敵な人との活動や大蔵のまちに対する思いや願いを聞くことで、大蔵のまちのために自分達にできることは何かを考え、実践しようとする目的意識をもつことができる。
考える力・表現力	○ 大蔵のまちの素敵な人との活動や大蔵のまちに対する思いや願いを聞くことで素敵な人の思いや願いやしていることの価値や意味、自分の生活とのつながりについて考えることができる。 ○ 大蔵のまちの素敵な人について自分と友達の考えを比較し、大蔵のまちに対する共通の思いを見付けながら自分の考えを深めることができる。 ○ 大蔵のまちの素敵な人についての自分の考えをまとめ、相手によく伝わるように工夫して表現することができる。
自分への気付きと生き方	○ 大蔵のまちの素敵な人の地域に対する思いや共生の願いと自分の生活とのつながりに気付き、地域の一員として、地域の人とよりよくかかわっていこうとする思いをもったり、大蔵のまちのために自分ができることを考えたりするなど、愛着をもつことができる。 ○ これまでの大蔵の素敵な人に対する自分の考えの変容や学びの成果を振り返り、自己評価することができる。

4. 学習指導計画（総時数 70時間）

	おもな学習活動	教師の支援	評価の方法
つかむ	<p>第1次 大蔵のまちの素敵な人を見付けよう。</p> <p>1. 3年生での総合的な学習の時間を振り返り、大蔵の素敵な人について話し合う。10</p> <p>(1) 3年生までの活動や体験を写真や資料等で振り返り、大蔵の素敵な人を整理する。</p> <p>④</p> <p>(2) 自分にとっての大蔵のまちの素敵な人ベスト5を決める。</p> <p>②</p>	<p>○ 3年生の総合的な学習の時間で学習した「大くら大すき！3年生～いいとこいっぱい 大くらたんけんたい～」での活動や体験を写真や資料などで振り返る。振り返る際に、自分や友達がかかわった人の中で心に残った人や活動内容、もっと調べたいことの観点で整理する。このことで、3年生での学びが4年生の学習へとつながっていくようにする。</p> <p>○ 素敵な人に選んだわけを明確にして決めるよう助言する。このことで、「素敵」のイメージを自分なりに持てるようにする。</p> <p>○ 友達とベスト5を決める際は、素敵なわけを中心に決めるよう助言する。このことで、大蔵のまちの多様な魅力やよさの一つとして、素敵な方々がいるという見方をしたり、素敵のイメージを共有化したりできるようにする。</p> <p>○ 素敵な人について話し合うことで、</p>	<p>【関】 3年生で学習した「大くら大すき！3年生～いいとこいっぱい 大くらたんけんたい～」での活動や体験を写真や資料等をもとに、大蔵のまちの素敵な人を整理している。</p> <p>●大蔵のまちの素敵な人を整理し、そのわけも書いている。</p> <p>●素敵というのは、「大蔵のまちを思って頑張っていること」等のイメージを持っている。</p> <p>（ワークシート・発言内容）</p>
つかむ	<p>(3) 大蔵のまちの素敵な人ベスト5を出し合い、クラスでの大蔵のまちの素敵な人ベスト5を決める。</p>		

	<p>②</p> <p>(4)「素敵な人」について話し合い、本単元を設定したり、学習計画を立てたりする。②</p> <p>2. 保育士の方々の素敵などころを調べて発表し合ったり、素敵などころについて話し合ったりする。</p> <p>6</p> <p>(1)保育士体験をしたり、保育士の方々の話を聞いたりして、素敵などころを調べる。</p>	<p>素敵というのは「大蔵のまちを思って頑張っていること」等のイメージを持つようにする。</p> <p>○大蔵のまちの素敵な人を出し合う中で、「大蔵の素敵な人について調べて紹介したい」という思いを引き出し、本単元を設定したり、本単元の学習活動の流れのイメージを持ったりすることができるようにする。</p> <p>○児童が取り上げた大蔵のまちの素敵な人の一人である保育士の方々の素敵などころ調べを共通体験として設定する。保育士の方には、相手の立場に立って接することの大切さ、将来はできれば大蔵のまちで頑張る素敵な人になって欲しい等のお話をしていただく。このことで、人とかかわりの視点で素敵などころを見付けることができるようにする。また、3年生の総合的な学習の時間で学習した調べ方やまとめ方等、課題解決の仕方を再度、確かめる活動として位置付ける。</p>	
さ ぐ る	<p>②</p> <p>(2)調べた素敵を工夫してまとめる。</p> <p>②</p> <p>(3)素敵などころを発表し合ったり、話し合ったりする。②</p> <p>3. 自分が調べたい素敵な人を決めたり、調べる計画を立てたりする。</p> <p>4</p> <p>(1)自分が調べたい人を自分の体験、素敵な人ベスト5、資料等を参考にしながら決めると。</p> <p>②</p> <p>(2)調べたい人べつにグループをつくり、学習計画を立てる。</p>	<p>○ベスト5や教師が準備した資料（区会だより・社協だより「こだま」）等をもとに自分で調べたい人を決める。その中で、次第に課題意識をもてるようにする。</p> <p>○調べたい人、調べたいと思ったわけ、一緒にしたい活動、調べたことをだれに伝えたいか等の学習計画を立てる。このことで、明確な課題意識や活動の見通しをもてるようにする。</p>	<p>【関】進んで保育士の素敵などころを見付けたり、話を聞いたりして、素敵などころをまとめている。</p> <p>●相手の思いを大切にしながら接することの大事さを教えたり、自立の手助けをしたりしているところがすごい等、素敵などころを自分の言葉で表現している。</p> <p>（発言内容・ワークシート・児童が表現したもの）</p> <p>【考】大蔵のまちの素敵な人への関心を高め、調べたい人を決めたり、調べるための計画を立てたりすることができる。</p> <p>●グループで協力しながら調べたい人、わけ、一緒にしたい活動、調べたことを伝える方法等の具体的な学習計画を立てている。</p> <p>（発言内容・ワークシート・学習計画）</p>
さ ぐ る	<p>②</p>	<p>○事前に大蔵のまちの素敵な人と学習のねらいや活動内容等について、十分に打ち合わせておく。</p> <p>○一緒に活動したりインタビューしたりする際には、毎回、自分の課題を再確認し、課題解決のための活動や体験であることを自覚してから取り組むようにする。このことで、明確な課題意識をもって活動や体験ができるようにする。</p>	

学習問題① 大蔵のまちの素敵な人の素敵なところを調べて、伝えよう。

第2次 大蔵のまちの素敵な人の素敵なところを調べよう。

4. 自分が調べたい人を調べ、見つけた素敵をまとめる。

1 3 + 課外

(1) 素敵な人にインタビューしたり、一緒に活動したりする。(1回目) ② + 課外

○見守り隊

○ボランティアで遊歩道を清掃している竹山さん

○ボランティアで折り紙を教えている小原さん

○川の生き物に詳しい土佐野さんと蒲原さん

(2) 見つけた素敵を自分でまとめる。①

(3) 見つけた素敵をグループで交流しまとめたり、活動を見直し次の活動計画を立てたりする。①

(4) 素敵な人にインタビューしたり、一緒に活動したりし、見つけた素敵を自分でまとめる。(2回目) ③ + 課外

(5) 見つけた素敵をグループで交流したり、大蔵のまちのために自分達にできることを考えたりする。② + 課外

(6) 大蔵のまちのために自分達にできることをする。(3回目) ② + 課外

(7) 活動を振り返って、思ったことや感じたこと等をカードに書く。①

(8) グループで交流する。①

○活動や体験をするたびに、振り返りカードにまとめ、グループで交流する活動を設定する。このことで、素敵の人に対する自分の捉えや考えを整理したり、自分の捉えや考えの変容に気付いたり、素敵の人に対する見方や考え方が次第に変容したりしていることを自覚できるようにする。

○素敵の人とかかわる活動をする度に、グループで自分が見つけた素敵のキーワードを付箋紙に書いて出し合い、共通点を見付ける活動を設定する。このことで、素敵の人とは、「していることがすごい人」から「大蔵のまちの役に立ちたいという思いで活動している人、君達も自分にできることをして欲しいという願いを持っている人」等へと見方や考え方が次第に高まっていくようにする。

○活動や体験後は、グループで自分達の活動を振り返って、成果と課題を表に整理し、改善策や次の課題を話し合う活動を設定する。また、考えた改善策を素敵の人に相談してアドバイスをもらったり、全校への意識調査のアンケート結果から課題を見付け解決策を話し合ったりする等の活動を設定する。このことで、活動や体験の目的や意味、自分の成長や変容を自覚しながら課題解決に向けての意識が連続するようにする。

○素敵の人の「大蔵のまちの役に立ちたいし、君達にもそうなって欲しい」等の思いや願いを受け止め、自分達にできることをする。このことで、素敵の人がしていることの価値や、思いや願いの意味を体験的に実感できるようにする。

○全校児童や地域の方に賞賛の言葉をいただくことを想定したアンケートをとったり、自分達の取り組みに対

【学】グループの友達と協力しながら大蔵のまちの素敵な人調べの自分の課題にそって、インタビューをしたり、何度もかかわったりして課題追及することができる。

●自分の課題をもち、課題解決のための情報を収集・選択している。

(行動観察・発言内容・ワークシート)

【考】大蔵のまちの素敵な人と一緒に活動したり、大蔵のまちに対する思いや願いを聞いたりする中で、その方の思いや願いの意味やしていることの価値について考えることができる。

●友達との感想の交流を通して、素敵の人の要件を考え、整理している。

(行動観察・発言内容・ワークシート)

【考】大蔵のまちの素敵な人について、自分と友達の考えを比較し、自分の考えを深め、行動することができる。

●「大蔵の役に立ちたい」等の素敵の人の思いや願いを受け止め、大蔵のまちのために自分達にできることを考え、行動している。

(行動観察・発言内容・ワークシート)

【生】これまでの自分の考えの変容や学びの成果を振り返り、自己評価することができる。

●これまでの活動や体験

さ
ぐ
る

	<p>5. 夏休みにウエルクラブで体験した児童の話をもとに、高齢者疑似体験をしたり、お独りでお住まいの年長者の方のお宅を訪問したりする。4</p> <p>(1)高齢者疑似体験をし、思ったことを出し合う。②</p> <p>(2)お独り住まいの年長者の方のお宅を訪問し、思ったことを出し合う。②</p>	<p>する評価の感想を聞いたりすることで、成就感や満足感を感じることができるようにする。</p> <p>○ボランティアの方から、「相手の立場に立って、どんな小さなことでもいいから、人のために役に立つことをしてくれるとうれしい」「大人になったら、大蔵のまちのために一緒に活動しましょう。」等の話をしていただく。そのことで、地域の方の大蔵のまちに対する思いや愛着にふれることができるようにする。</p> <p>○年長者の方に、「人とのつながりが大切」「挨拶も人とのつながりを生む」等のお話をしていただく。そして、自分が調べている素敵な人の思いや願いとの共通点を見付ける活動を設定する。このことで、素敵な人は、大蔵のまちの人とのつながりを大切にしたいという思いももっているのではないかということに気付くことができるようにする。</p>	<p>の意味や価値を再認識し、成就感や満足感を感じている。</p> <p>(発言内容・ワークシート)</p> <p>【考】ボランティアの方の思いや願いや年長者の方のお話の内容と自分が調べている素敵な人との共通の思いを見付け、自分の考えを深めることができる。</p> <p>●「人の役に立つ、支え合う、大蔵のまちのことを思っている、人とのつながりが大切」等の言葉や、年長者の方の知恵や人柄の素晴らしさ等の年長者の方に対する見方や考え方の変容を自分の言葉で表現している。</p> <p>(行動観察・発言内容・ワークシート)</p>
<p>伝え合う</p>	<p>6. 大蔵の素敵な人を、他のグループや地域の方に発表する計画を立てたり準備をしたりして発表する。15</p> <p>(1)グループで発表する計画を立てる。②</p> <p>(2)グループで発表方法や全体構成を考える。②</p>	<p>○グループで発表する計画を立てる際には、まず自分で、これまでに書いたカードや写真等で素敵な人について思ったことや気付いたこと等を、かかわる前から順に時系列で整理しながら振り返る活動を設定する。次に、グループで交流し、自分との共通点を見付ける活動を設定する。最後に、グループで一番伝えたい素敵や思いを話し合う。このことで、素敵な人に対する見方や考え方の変容に改めて気付いたり、素敵な人についての自分の考えを再認識したり、大蔵のまちに対する自分の思いや願いに気付いたりすることができるようにする。</p> <p>○自分達の考えが伝わるような表現方法を話し合ったり、どのような構成</p>	<p>【生】これまでの大蔵の素敵な人に対する自分の考えの変容や学びの成果を振り返り、自己評価することができる。</p> <p>●素敵な人に対する自分の見方や考え方の変容に気付いている。</p> <p>(発言内容・ワークシート)</p> <p>【考】大蔵のまちの素敵な人について、自分と友達の考えを比較しながら自分の考えを深めることができる。</p> <p>●「大蔵のまちをよりよくしたい」「大蔵のまちのためにできることをしたい」等、地域に対する思いを自分の言葉で表現している。</p> <p>(発言内容・ワークシート)</p> <p>【表】大蔵のまちの素敵な</p>

第3次 大蔵のまちの素敵な人の素敵なところを伝えよう。

つ か む	<p>(3)グループで発表の準備をする。⑥</p> <p>(4)大蔵市民センターで、保護者や地域の方に発表する。課外</p> <p>(5)大蔵市民センターでの保護者の方や地域の方の感想をふまえ、友達に伝えるために、自分達がまとめたものを見直し、修正する。①</p> <p>(6)グループごとに発表し、大蔵の素敵な人について話し合う。④ 〈本時④／4〉</p>	<p>にすれば、よく伝わるか等を話し合う。</p> <p>○国語科等との関連を図り、大蔵のまちの素敵な人についての自分の考えや伝えたいことが相手によく伝わるように工夫して表現することができるようにする。</p> <p>○地域の方や保護者の方の、児童の活動内容に対する肯定的な感想を聞き、思ったことや感じたことを書き加える。そのことで、自分達がしたことが地域の役に立っていることや、地域の方に喜んでもらえていることを実感できるようにする。</p> <p>○本時では、GTにこれまでの児童の活動内容に対する賞賛、共生の願い、自分にできる地域への貢献について、お話ししていただく。また、これまでの学習を振り返る。このことで、大蔵まちの一員として、大蔵の素敵な人とさらにかかわっていきたいという意欲をもつことができるようにする。</p>	<p>人についての自分の考えや伝えたいことをまとめ、相手によく伝わるように工夫して表現することができる。</p> <p>●相手や目的に応じた表現方法、写真等をまじえる等、工夫して表現している。 (発言内容・ワークシート・児童が表現したもの)</p> <p>【生】これまでの大蔵の素敵な人に対する自分の学びの成果を実感することができる。</p> <p>●「大蔵のまちの仲間の一員として、これからも役に立ちたい」等と素敵な人の地域に対する思いや共生の願いと自分とのかかわりに気付き、地域の一員としての自覚を表現している。 (発言内容・ワークシート)</p>
	<p>学習問題② もっと大蔵のまちの素敵な人の素敵ところを調べて、伝えよう。</p>		
さ ぐ る	<p>第4次 もっと大蔵のまちの素敵な人の素敵ところを調べよう。</p>		
	<p>6. 教師が準備した資料(区会だより・社協だより「こだま」)等で、調べたい大蔵のまちの素敵な人を見付ける。2</p> <p>7. 大蔵のまちの素敵な人調べの計画を立て、調べる。6</p> <p>(1)素敵な人調べの計画を立てる。②</p> <p>(2)グループで調べる。④</p>	<p>○これまでに学習してきた「素敵な人」の捉えをもとに、今度、調べたい人を見付けるよう助言する。そのことで、児童の素敵な人調べの意識がたつき、深まっていくようにする。</p> <p>○これまでの課題解決の方法を生かしながら調べ活動をする。このことで、課題解決の方法が身に付くようにする。</p> <p>○活動や体験をする度に、振り返りカードにこれまでに学習した素敵な人との共通点を見付けながら自分の考えをまとめる活動を設定する。このことで、大蔵の一員としての自分の考えの変容や深まりに気付くことができるようにする。</p>	<p>【関】進んで調べたい素敵な人を見付けている。</p> <p>●「こだま」を参考にしたり、自分で見付けたりして、調べたい人を決めている。 (行動観察・発言内容・ワークシート)</p> <p>【学】これまでの課題解決の方法を生かしながら課題解決をしている。</p> <p>●大蔵のまちの素敵な人にインタビューしたり一緒に活動したりする等、これまでの課題解決の方法を生かしながら活動している。 (行動観察・発言内容・ワ</p>
伝 え 合 う			

第5次 大蔵のまちの素敵な人の素敵ところを伝えよう。

ート)

8. 調べたことをまとめ、グループごとに発表する。

4

- (1)グループで発表の準備をする。
②

(2)グループごとに発表し、これまでにしかかわった全ての素敵な人から学んだことについて話し合う。

②

9. 区会だより・社協だより「こだま」に、大蔵のまちの方々に紹介したい地域の素敵な人の紹介文を書いて紹介し、学習のまとめをする。 4

10. おひとり住まいの年長者の方のお宅訪問の際に出会った大蔵川に詳しいGTに、大蔵川についてのお

○これまでに学習した表現方法を生かしながら工夫して表現する。このことで、自分が伝えたいことに合った表現方法を選び、相手によく伝わるように工夫して表現することができるようにする。

○全体で、これまでにしかかわった全ての素敵な人から学んだことを話し合う活動を設定する。このことで、将来自分も大蔵のまちの一員として、大蔵の素敵な人になりたいといった夢や憧れの気持ちをもつことができるようにする。

○これまでの表現方法を生かしたり、国語科等との関連を図ったりしながら「こだま」に紹介文を書く。伝える相手や紹介の方法によって、表現の仕方に違いがあることに気付くようにする。

○これまでに学習した素敵な人々全ての中から、地域の方に紹介したい人を決める。また、お互いの紹介文を発表し合い、感想を出し合ったり、自己評価カードを書いたりする。このことで、単元全体の学習を振り返り、獲得した学びや自己の変容に気付くことができるようにする。

○事前に、GTに、5年生の総合的な学習の時間の大蔵川調べの観点となる大蔵川の昔の様子、今よりもっときれいだっった頃の大蔵川によく見られ

【表】様々な表現方法の中から、伝えたいことに合った表現方法を選び、まとめている。

●これまでの学習を生かし、まとめている。

(行動観察・発言内容・ワークシート)

【考】大蔵の一員としての自分の考えが変容したり深まったりしている。

●自分も大蔵のまちの一員として、将来、大蔵の素敵な人になりたいといった夢や憧れの気持ちをもっている。

(行動観察・発言内容・ワークシート・児童が表現したもの)

【表】大蔵のまちの素敵な人についての自分の考えや伝えたいことをまとめ、相手によく伝わるように工夫して表現することができる。

●地域の方に素敵な人のよさが伝わるように、文章構成や表現方法等を工夫している。

(発言内容・ワークシート・児童が表現したもの)

【生】地域の一員としての自覚を表現している。

●地域に発信することで、大蔵のまちの一員としての自覚をもち、自分にできることをしていこうとしたり、今後も地域の方々とかかわろうとしたりしている。

(行動観察・発言内容・ワークシート・

「こだま」)

【関】大蔵川について、関心をもっている。

●大蔵川についてのお話

生
か
す

生
か
す

<p>話を聞き、5年生の総合的な学習の時間の大蔵川調べで調べたいことを出し合う。 2</p> <p>(1)大蔵川に詳しいGTに、大蔵川についての話を聞く。 ①</p> <p>(2)5年生の総合的な学習の時間の大蔵川調べで調べたいことを出し合う。 ①</p>	<p>た生き物、プールや釣り場やホテルの鑑賞等の遊び場や憩いの場としての大蔵川等のお話をさせていただくよう打ち合わせておく。このお話をふまえ、調べてみたいことを出し合う。このことで、5年生の総合的な学習の時間へとつなぐことができるようにする。</p>	<p>を意欲的に聞いたり、質問をしたり、調べてみたいことを決めたりする等、大蔵川調べに対する意欲を見せている。 (行動観察・発言内容・ワークシート)</p>
--	---	--

5. 本時の学習

(1) 日時 平成24年11月16日(金) 第5校時 於 4年1組教室

(2) 主眼

友達の発表を聞いてこれまでに調べた素敵な人との共通点を見付けながら素敵な人について話し合ったり、GTの芳賀さんから共生や地域貢献についてのお話を聞いたり、これまでにかかわった全ての素敵な人から学んだことを振り返ったりする活動を通して、共生の思いや願いに気づき、大蔵のまちの一員として大蔵のまちの素敵な人とさらにかかわっていきたいという意欲をもつことができるようにする。

(3) 本時の視点

前時までに児童は、3グループの発表を聞いて、これまでに調べた素敵な人との共通点を見付けながら素敵な人について話し合ってきた。(手立て2:お互いの考えを出し合い、高めていく学習場面の設定)本時は、友達の発表を聞いて素敵な人について話し合ったり、GTの芳賀さんから共生や地域貢献についてのお話を聞いたり、これまでにかかわった全ての素敵な人から学んだことを振り返ったりして、自分の考えをまとめていく。(手立て3:児童の思考の広がりやこだわり、深まりの見取りと児童の学習状況に応じた適切な助言・支援)これをもとに次の課題の方向付けをする時間である。

(4) 準備

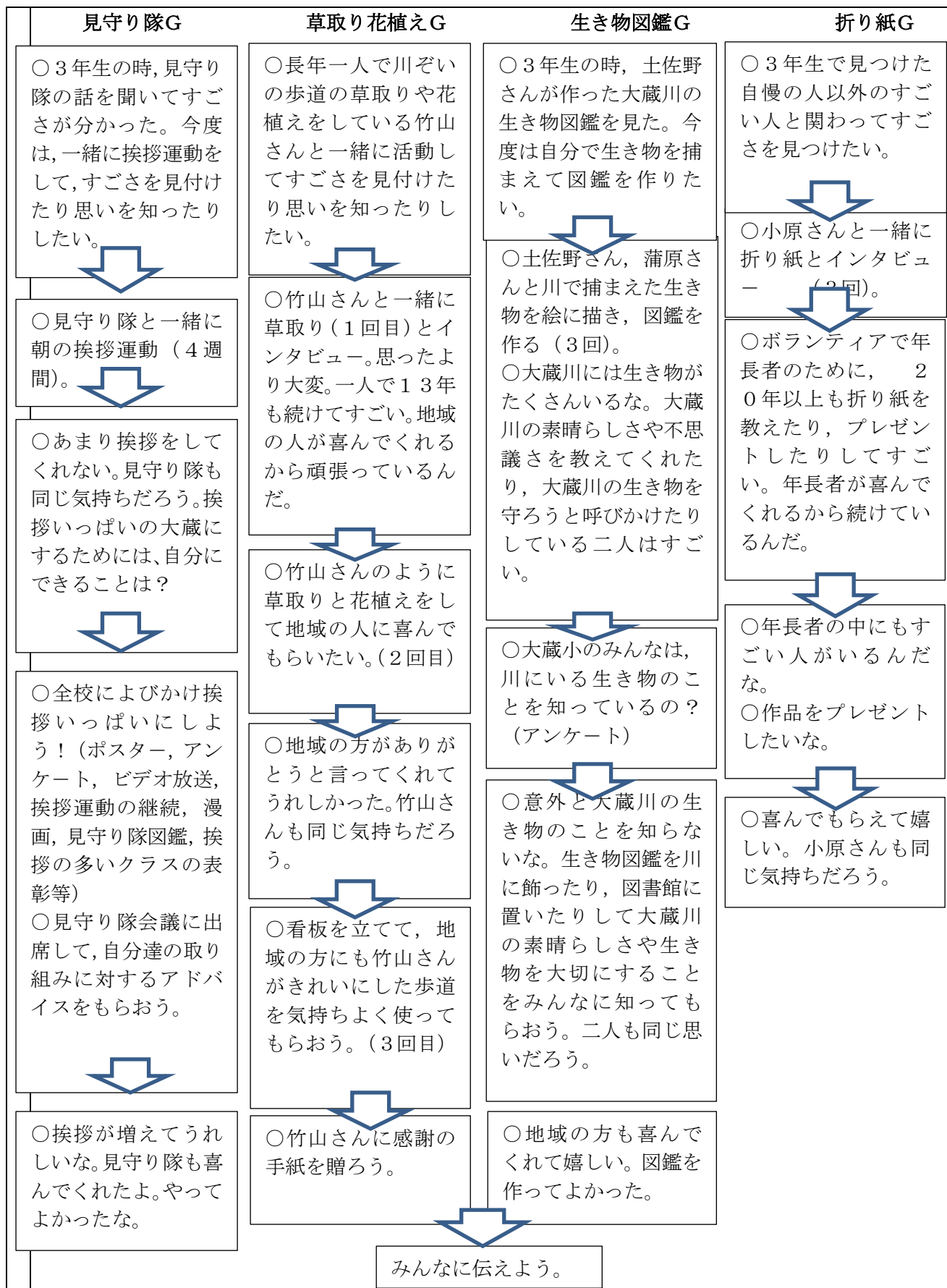
○児童が発表のために準備したもの ○これまでににかかわった大蔵のまちの素敵な人の写真と男女各一枚の児童の似顔絵(掲示用) ○振り返りカード ○オルゴール曲のCD

(5) 展開

学習活動・内容	支援・指導上の留意点(◇評価規準及び・方法)
<p>1. 前時の学習を振り返り、本時のめあてを確認する。</p>	<p>○ 前時までに3グループが発表し、素敵な人についての共通点を見付けながら素敵な人について話し合ったことを想起する。本時は、最後のグループ(見守り隊グループ)の発表を聞いて、これまでにかかわった全ての素敵な人から学んだことを振り返り、自分の考えをまとめる時間であることを確認する。</p>
<p>めあて 友達の発表や芳賀さんのお話を聞いたり、これまでにかかわった全ての素敵な人から学んだことを振り返ったりして、自分の考えをまとめよう。</p>	
<p>2. 見守り隊グループの発表を聞いて、これまでに調べた素敵な人との共通点を見付けながら素敵な人について話し合う。</p>	<p>○発表の順番や発表者が交替する時の約束などを事前に確認しておく、スムーズに進められるようにしておく。 ○発表する側には、事前に、素敵などころ、素敵などころに対する自分の見方や考え方の変容、素敵な人から学んだことを話すように助言しておく。聞く側には、素敵な人についての共通点を見付けるということを再度おさえておく。 ○自分の素直な言葉で、素敵な人に対する自分の考えや、素敵な人から学んだことを話している児童を賞賛する。</p>

<p>3. 大蔵のまちの素敵な人に対する自分の考えを出し合う。</p>	<p>○素敵な人から学んだこと等をなかなか話せない児童には、教師の見取り等をもとに、思いや気付きや考えを引き出すような声かけをする。</p> <p>○素敵な人に共通する児童の見方や考え方を板書で整理することで、素敵な人に対する捉えを明確にしていく。</p> <p>○大蔵のまちの素敵な人に対する自分の考えを出し合うことで、素敵な人に尊敬や誇りの気持ちをもったり、憧れを抱いたりしていることに気付くことができるようにする。</p>
<p>4. G Tの芳賀さんのお話を聞く。</p>	<p>○G Tの芳賀さんに、これまでの児童の活動内容に対する賞賛、共生の思いや願い、自分にできる地域への貢献について話していただく。このことで、大蔵のまちの一員としての自分の存在に気付くことができるようにする。</p> <p>○黒板に貼ったこれまでにかかわった大蔵のまちの素敵な人の写真と男女各一枚の児童の似顔絵の掲示物を線で結び、一つの輪にすることで、自分も大蔵のまちの一員ということに、視覚的に気付くことができるようにする。</p>
<p>5. これまでにかかわった全ての素敵な人から学んだことを振り返って自分の考えをまとめ、出し合う。</p>	<p>○これまでにかかわった全ての素敵な人の写真やその方の言葉を板書で振り返ることで、素敵な人は大蔵のまちへの愛情があること等を再認識できるようにする。</p> <p>○オルゴール曲のCDをかけ、落ち着いた気持ちでこれまでの学びを振り返り、自分の考えをまとめることができるようにする。</p> <p>◇これまでの学習を振り返って自分の考えをまとめ、大蔵のまちの一員として大蔵のまちの素敵な人とさらにかかわっていききたいという意欲をもつことができる。</p>
	<p>【自分への気付きと生き方】</p> <p>・「大蔵のまちの仲間の一員として、これからも役に立ちたい」等、素敵な人の地域に対する思いや共生の願いと自分とのかかわりに気付き、地域の一員としての自覚を表現している。（発言内容・ワークシート）</p>
<p>6. 本時のまとめをし、次時のめあてをもつ。</p>	<p>○これからの活動については、「大蔵のまちの素敵な人ともっとかかわりたい」という共通の思いをおさえながら、個々の思いを大切に、次の課題づくりへとつなぐ。</p>

※資料 各グループのおもな活動のながれ



7. 研究の実際と考察

(1) 主題に迫るための具体的な手立てについての研究の実際と考察

[手立て1]

- ・ 「つかむ」段階での大蔵の魅力に新たな視点で迫ることのできる地域素材（学習材）の焦点化および体験活動に効果的な人材活用と課題設定や体験活動の時間の十分な保障をした児童の思いや思考の流れにそった単元構成の工夫

[手立て2]

- ・ 「伝え合う・生かす」の段階でのお互いの考えを出し合い、高めていく学習場面の設定と「整理・分析」「まとめ・表現」のプロセスでの協同的活動の重視

[手立て3]

- ・ 「つかむ」「さぐる」段階での児童の思考の広がりやこだわり、深まりの見取りと児童の学習状況に応じた適切な助言・支援
- ・ 「伝え合う」「生かす」の段階での連続的、長期的な見取りを生かした支援とポートフォリオを使った評価の工夫

(2) 研究の実際と考察

[手立て1]

大蔵の魅力に新たな視点で迫ることのできる地域素材（学習材）の焦点化および体験活動に効果的な人材活用と課題設定や体験活動の時間の十分な保障をした児童の思いや思考の流れにそった単元構成にするために、以下の工夫をした。まず、本単元の導入場面で、3年生の総合的な学習の時間での活動や体験を写真や資料などで振り返る活動を位置付けた。その際、自分や友達がかかわった人の中で心に残った人やその人との体験活動、もっと調べたいことの観点で整理した。また、クラスで大蔵の素敵な人ベスト5を決める中で、素敵な人とは「大蔵のまちのことを思って頑張っている人」等のイメージを持てるようにした。このことで、3年生での学びが4年生の学びへとつながっていくようにしたり、課題設定への方向付けをしたりした。次に、課題設定に向け、児童が取り上げた大蔵のまちの素敵な人の一人である保育士の方々とかかわる共通体験を位置付け、人とのかかわりの視点で素敵などろを見付けることができるようにした。



(資料1) 3年生の総合的な学習の時間での学びをふまえ、大蔵の素敵な人ベスト5を決める児童

その結果、(資料2)の吹き出しにあるように、「人とのかかわり」や「大蔵のまちやそこに住む児童達への思い」について気付くことができ、課題設定への方向付けができた。

その後、ベスト5や教師が準備した資料である区会だより・社協だより「こだま」等をもとに自分で調べてみたい人を考える活動を設定し、次第に課題意識をもてるようにした。「こだま」には、大蔵のまちのために尽力している方々が紹介されており、児童の課題追及、ねらいや研究主題に迫るに相応しいと判断した方々が掲載されているため、課題設定のための資料として活用した。その後、(資料4)のような学習計画を立てた。

相手のことを思っにかかわることの大切さを教えているところがすごいな。

将来、大蔵のまちで頑張る素敵な人になって欲しいと思っっているんだな。



(資料2) 課題設定のため、児童が取り上げた大蔵のまちの素敵な人の一人である保育士の方々とかかわる共通体験



(資料3)大蔵のまちのために尽力している方が紹介されている区会だより・社協だより「こだま」
～これらを活用しながら調べたい人を決めた



(資料4)めあてや活動内容等の学習計画

この結果、登下校時の児童の安全を見守る見守り隊の方々を調べるグループ、大蔵川ぞいの歩道の草取りや花植えのボランティアを13年間お一人でされているTさんを調べるグループ、大蔵川の自然や生き物を大切に守っていききたいTさんとKさんを調べるグループ、数十年間ボランティアで施設で折り紙を教えたり折り紙のプレゼントをしたりしているOさんを調べるグループの4つの課題別グループができた。これらのことが、明確な課題意識や活動の見通しをもったり、児童の思いや思考の流れにそった単元構成をしたりすることにつながった。

[手立て2]

素敵な人と一緒に活動する際には、毎回自分の課題を再確認し、課題解決のための体験活動であることを自覚し取り組むようにした。また、活動や体験をするたびに振り返りカードにまとめ、グループで考えを出し合い高めていく活動を設定した。

挨拶を広めるポスターをかくて、貼ろう。



いいアイデアだね。

私もそう思ったよ。大蔵の人の役に立ちたいから続けているのかな。



草取りは、簡単と思っていたけど、やってみると大変だった。一人で13年もしているなんてすごい。

また、活動や体験後にグループでの活動を振り返り成果と課題を表に整理し改善策や次の課題を話し合ったり、改善策を素敵な人に相談してアドバイスをもらったり、全校への意識調査アンケート結果から課題を見付け解決策を話し合ったりする等の学習場面と協同的活動を位置付けた。

毎日挨拶運動を頑張っているね。ハイタッチ挨拶をしたり、当番の日以外に、全員で挨拶運動に立つ日を決めたりしてみては。



ぼくたちは挨拶いっぱいの大蔵小にするために、ポスター、アンケート、ビデオ放送、挨拶運動、見守り隊漫画、見守り隊図鑑、毎日放送で各クラスごとに挨拶した人数を発表するなどをしています。アドバイスはありませんか。

(資料5) 見守り隊の定例会に参加して、アドバイスをもらう児童（前頁）と大蔵川の歩道に花植えをしたことについて地域の方の感想を聞くアンケートを校区のお店に置いた児童（下）



「さんは、一人で13年間も歩道をきれいにしています。私達は、さんと一緒に草取りと花植えをしました。このことについて感想を書いて下さい。」

さらに、全校や地域の方に賞賛の言葉をもらうことを想定したアンケートをとり自分達の取り組みに対する評価の感想を聞き、成就感や満足感を感じることができるようにした。

その後、共通体験として、高齢者疑似体験とおひとり住まいの年長者の方のお宅訪問をした。高齢者疑似体験のボランティアの方から、「相手の立場に立って、どんな小さなことでもいいから、人のために役に立つことをしてくれとうれしい。」「大人になったら大蔵のまちのために一緒に活動しましょう。」等の話をしていた。このことで、地域の方の大蔵のまちに対する思いにふれることができるようにした。また、おひとり住まいの年長者の方に「人とのつながりが大切」「挨拶も人とのつながりを生む」等のお話をいただき、自分が調べている素敵な人の思いや願いとの共通点を見付ける活動を設定した。このことで、素敵な人は、人とのつながりを大切にしたいという思いももっているのではないかとすることに気付くことができるようにした。



ボランティアの方から、「どんな小さなことでもいいから、人のために役に立つことをしてくれとうれしい。大人になったら大蔵のまちのために一緒に活動しましょう。」と言われたよ。自分が調べている〇〇さんも同じことを言っていたな。

(資料6) 高齢者疑似体験をする児童

挨拶や感謝は人と人とのつながりを生むんだよ。



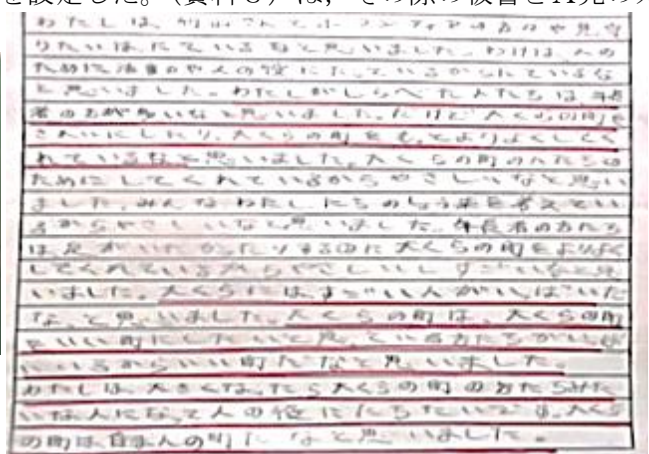
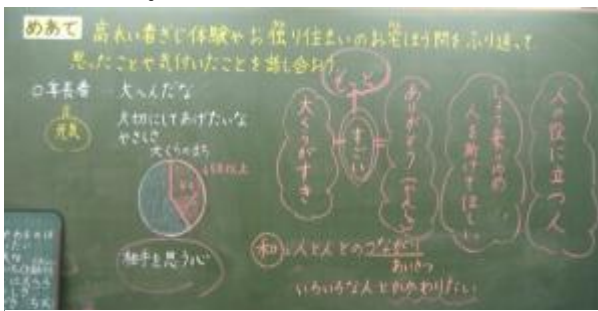
年長者の方は、頑張っているから本当にすごいな。みんな大蔵のまちが好きなんだな。



「人とのつながり」や「和」が大切なんだよ。

(資料7) おひとり住まいの年長者の方のお宅訪問をする児童

2つの体験後、お互いの考えを出し合う活動を設定した。(資料8)は、その際の板書とA児のカードである。



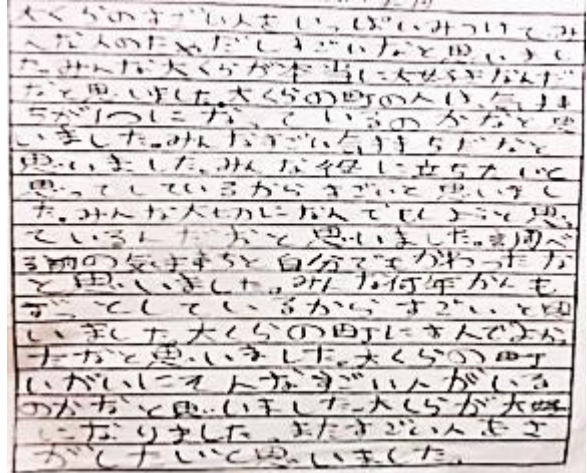
(資料8) 高齢者疑似体験とおひとり住まいの年長者の方のお宅訪問についての話し合いの板書(上)とA児のカード(右)

高齢者疑似体験とおひとり住まいの年長者の方のお宅訪問についての話し合いの場面で、K児は「将来、大蔵のまちを今の子ども達の手でも大切に日本一のいいまちにしたいという気持ちがあると思います。ボランティアの方はかげで目立たないけど大蔵のまちを支えていると思いました。だからぼくも人の役に立つ人、感謝される人になって、もっともっと大蔵のまちが好きな人になりたいです。」と発言した。また、A児は（資料15）のように書いた。

その後、グループで調べたことをまとめ、友達、地域の方、保護者に発表し、共通点を話し合う活動を位置付けた。これにより、素敵な人に対する捉えを明確にして自分の考えをまとめたり、大蔵の一員としての自分の考えの変容や深まりに気付くことができるようにした。



（資料9）各グループの発表（上）と発表を聞いて共通点を話し合った後に書いたI児のカード（右）



このように、お互いの考えを出し合い高めていく学習場面と協同的活動を位置付けたことで、（資料8）（資料9）のように、自分が調べている素敵な人と比較しながら年長者の方やボランティアの方の大変さや人の役に立つことの素晴らしさ、「和（人とのつながり）」の大切さに気付くことができた。また、大蔵のまちに対する愛着の気持ち、将来を担う児童達への思いにふれ、素敵な人に対する自分の捉えや考えを整理したり、素敵な人に対する見方や考え方が変容したりした。

[手立て3]

（資料10）は、学習指導計画の右側に具体的な児童の姿（●印）を位置付けたものである。これは、評価規準をさらに目指す発言や行動レベルにまで具体化したものである。これは、単元の導入から学習が進むに従って、自己の高まりや成長を実感し、地域への愛着が育っていくように位置付けている。これにより、毎時間の支援や評価が焦点化し、意図的・計画的な指導や評価ができた。また、毎時間の学習カードや写真等を個人ファイルにとじていくようにした。このことで、児童自身が自分の学びを振り返り、自己の高まりや成長を実感したり新たな課題を見付けたりし、学びが連続していくようにした。また、教師の連続的、長期的な見取りにも活用した。

その結果、学習が進むに従って、自己の高まりや成長を実感し、地域への愛着の気持ちが育っていった。具体的な変容については（3）成果と課題の項で述べる。

（資料10）学習指導計画（一部抜粋）

	主な学習活動	教師の支援	評価規準・具体的な児童の姿・評価方法
伝え合う	(6)グループごとに発表し、大蔵の素敵な人について話し合う。④ 〈本時④／4〉	○本時では、GTにこれまでの児童の活動内容に対する賞賛、共生の願い、自分にできる地域への貢献について、お話ししていた。また、これまでの学習を振り返る。このことで、大蔵の一員として、大蔵の素敵な人とさらにかかわっていきたいという意欲をもつことができるようにする。	【生】これまでの大蔵の素敵な人に対する自分の学びの成果を実感することができる。 ●「大蔵のまちの仲間の一員として、これからも役に立ちたい」等と素敵な人の地域に対する思いや共生の願いと自分とのかかわりに気付き、地域の一員としての自覚を表現している。（発言内容、写真等）
	評価規準。毎時間の学習活動でねらう児童の姿でもある。	評価規準をさらに目指す発言や行動レベルにまで具体化したもの。これにより、毎時間の教師の支援や評価が焦点化し、意図的・計画的な指導や評価ができる。	